

この「ため池ハザードマップ」は下記の対象ため池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。災害のおそれがあるときの情報収集や、災害時の避難行動に役立ててください。

対象ため池

名称	堤長	堤高	貯水量
きただにいけ 北谷池 きただにしんいけ 北谷新池	81.0m	11.7m	43,100m ³
どうおいけ 堂尾池	90.0m	16.9m	77,000m ³
さむたにいけ 寒谷池	67.0m	16.1m	64,000m ³

※北谷池・北谷新池の堤長及び堤高は、決壊を想定したきただにいけ、あたひちよすいりょう、きただにしんいけ、こういけち北谷池の値。貯水量は北谷池、北谷新池の合計値。

ため池の異常発見時の連絡先

市役所

072-877-2121

大東四條畷消防本部

072-875-0119

四條畷警察署

072-875-1234

大雨地震

大雨や大地震のあとは注意しましょう。



※ほかにも堤防の沈下、斜面すべり、堤防の亀裂による破壊などが想定されます。



- ため池の被災要因の多くは、大雨と地震です。
- ため池の被災は、大雨によって水位が高くなり堤防を越流する場合や、地震によって堤防に亀裂が入ったり、漏水が発生したり、様々な形態があります。ため池の異常に気付いたら、すぐに下記まで連絡してください。
- 万が一ため池が決壊した場合、多量の水が短時間で押し寄せてくる可能性があります。大雨や大地震のあとは情報収集につとめ、避難情報が発令された場合や、身の危険を感じた場合は、早めに避難しましょう。

ため池ハザードマップの活用方法

日頃からの備えが大切です

1 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

●想定される浸水区域や深さなどをチェックし、災害時の様々な事態をイメージしましょう。

2 日頃から家族や地域で話し合ひましょう。

●災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割などを話し合ひましょう。

●避難時に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。

3 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

●ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。

防災情報の入手先 正確な情報を入手しましょう

大雨や地震の時は、テレビ、ラジオ、インターネットなどで最新の情報を確認し、早めの避難に備えましょう。

名称	情報の種類	ウェブサイトアドレス
おおさか防災ネット	府内の気象情報・地震情報 気象庁の気象情報・地震情報など	http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html http://www.osaka-bousai.net/mobile/pref/index.html (携帯電話用) 防災情報メールに登録しましょう 事前登録を行うと防災情報がメールで配信されます。 【登録方法】 touroku@osaka-bousai.net に空メールを送り返信メールから登録
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	http://www.jma.go.jp/jma/index.html

避難情報の伝達 避難情報が発令されたら速やかに行動しましょう

市では、災害の危険性が高まり、避難が必要となる場合に避難情報を発令します。

四條畷市役所

屋外スピーカー、広報車
テレビ、ラジオ
インターネットなど

避難情報
市民のみなさん

避難情報の種類	とるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	避難の準備を始めましょう・避難に援助が必要な方は避難を始めましょう
避難勧告	速やかに避難を始めましょう
避難指示(緊急)	直ちに避難しましょう

※気象状況などにより避難情報が聞こえない場合や、伝達がない場合もありますので、身の危険を感じたら早めに避難してください。

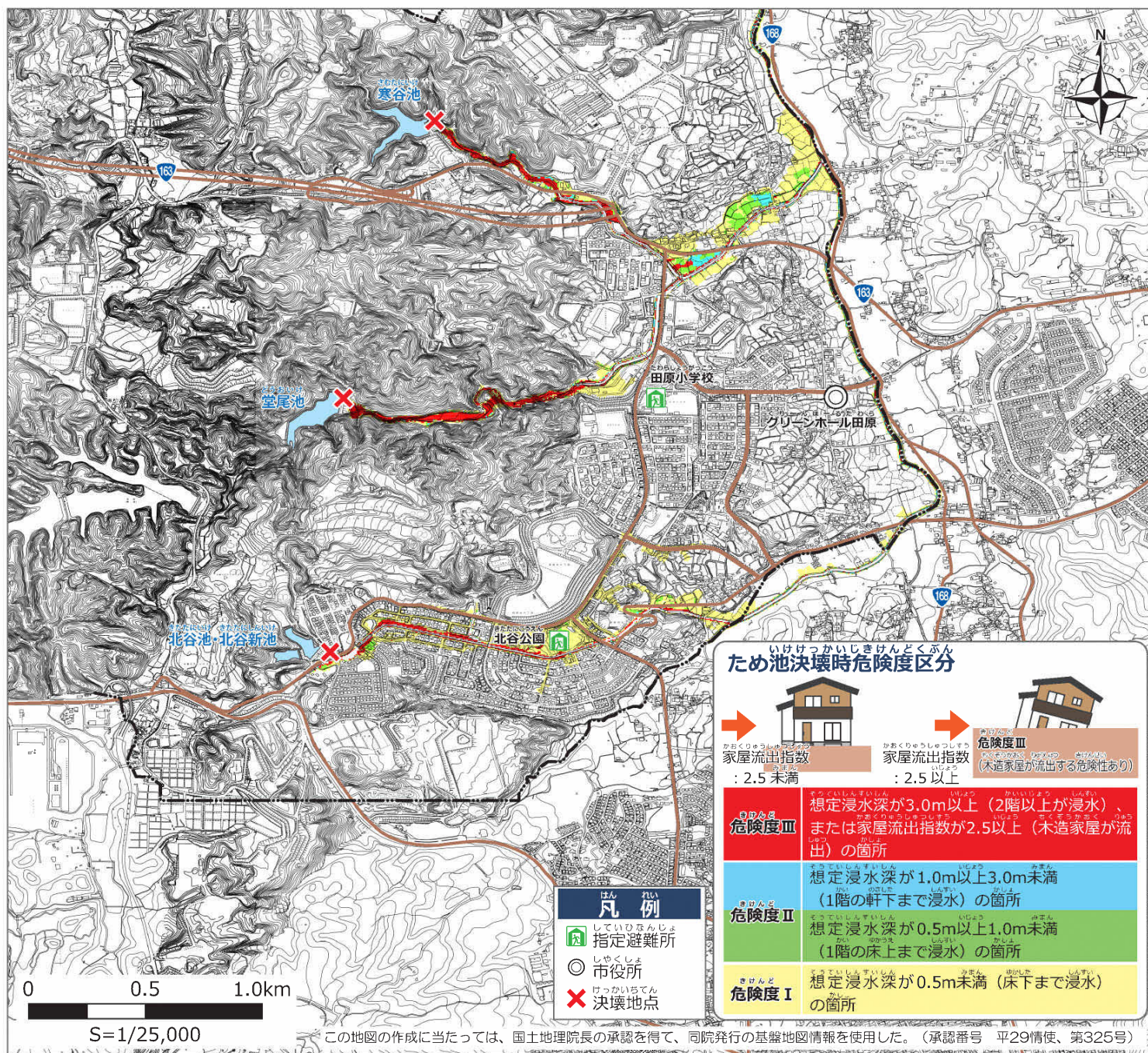
非常持出品

- 貴重品
- 携帯ラジオ
- 照明器具
- 衣類
- 非常食品
- 非常用道具類
- 救急・衛生用品・薬



危険度と避難行動 危険度に応じた避難行動を考えましょう

地域の危険度を確認し、一時的に避難できる場所を探しておきましょう。
危険度Ⅲの箇所は、水の勢いで建物が損壊するおそれがあるため、特に注意が必要です。



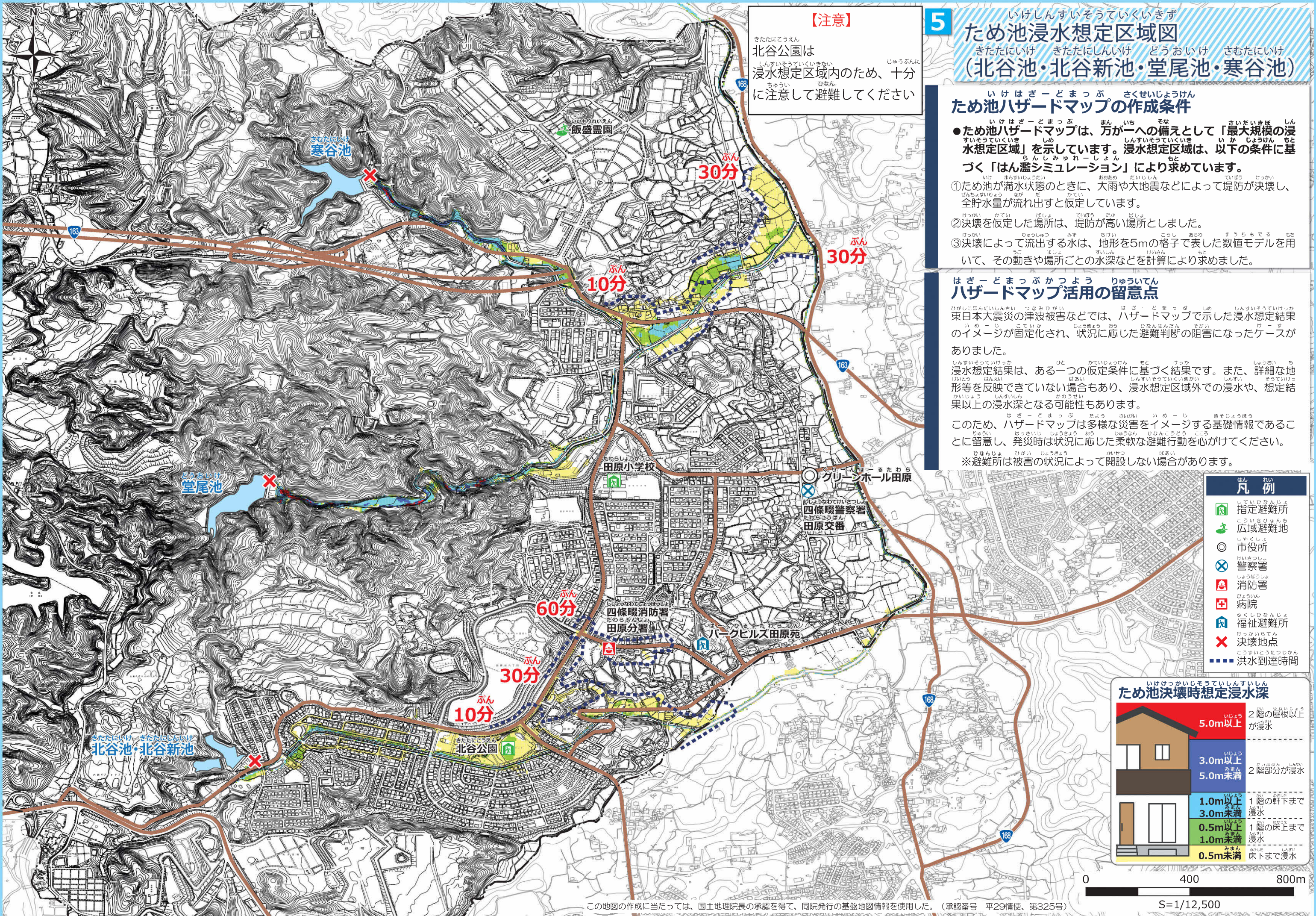
ため池決壊時危険度区分

危険度Ⅲ	危険度Ⅱ	危険度Ⅰ
想定浸水深が3.0m以上（2階以上が浸水） または家屋流出指数が2.5以上（木造家屋が流出）の箇所	想定浸水深が1.0m以上3.0m未満 （1階の軒下まで浸水）の箇所	想定浸水深が0.5m以上1.0m未満 （1階の床上まで浸水）の箇所

- 凡例
- 指定避難所
 - 市役所
 - 決壊地点

0 0.5 1.0km
S=1/25,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平29情使、第325号）



【注意】
きたたにこうえん
北谷公園は
しんすいそうていくいきない
浸水想定区域内のため、十分
ちゅうい ひなん
に注意して避難してください

5 ため池浸水想定区域図 (北谷池・北谷新池・堂尾池・寒谷池)

ため池ハザードマップの作成条件

●ため池ハザードマップは、万が一への備えとして「最大規模の浸水想定区域」を示しています。浸水想定区域は、以下の条件に基づく「はん濫シミュレーション」により求めています。

- ①ため池が満水状態のときに、大雨や大地震などによって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- ②決壊を仮定した場所は、堤防が高い場所としました。
- ③決壊によって流出する水は、地形を5mの格子で表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの水深などを計算により求めました。

ハザードマップ活用の留意点

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

※避難所は被害の状況によって開設しない場合があります。

凡 例	
	指定避難所
	広域避難地
	市役所
	警察署
	消防署
	病院
	福祉避難所
	決壊地点
	洪水到達時間

